

# 社会的事象の見方・考え方を働かせ、多角的に考える児童の育成

—視点や方法を明確にした単元指導計画の作成と資料提示・発問の工夫を通して—

前橋市立白川小学校 三好 雄大

## I 主題設定の理由

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）では、深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることが重要になると述べられている。平成 31 年度前橋市各教科等指導の努力点には、「育成する資質・能力を明確にし、社会的な見方・考え方を働かせる指導の工夫」として、「資料を読み取ったり思考や交流をしたりする際に、その活動で想定した社会的な見方・考え方を働かせられるよう、発問を工夫すること」と示されている。

本学級の児童は、社会的事象の見方・考え方を十分働かせられているとは言えず、資料を読み取ったり調べたりする際、資料のどこに着目したらよいか、課題解決のために必要な情報は何か分からない児童も多い。また、複数の事象にどのような関わりやつながりがあるかを考える力も十分とはいえない。その理由としては、指導者が、単元全体を見通し、どのような視点や方法で課題を追究させたり考察させたりするのか、そのためにどのような資料を提示し、どのような発問をしたらよいかを明確にできていないことが挙げられる。

そこで、本研究では、視点や方法を明確にした単元指導計画を作成し、各授業において明確な意図を持って資料を提示したり発問したりすることで、社会的事象の見方・考え方を働かせ、多角的に考える児童を育成できると考え、本主題を設定した。

## II 研究のねらい

社会的事象の見方・考え方を働かせ、多角的に考える児童を育成するために、視点や方法を明確にした単元指導計画を作成したり、資料提示や発問を工夫したりすることの有効性を、実践を通して明らかにする。

## III 研究の見通し

視点や方法を明確にした単元指導計画を作成し、資料提示や発問を工夫した授業を行えば、社会的事象の見方・考え方を働かせ、多角的に考える児童を育成できるだろう。

そのために、以下の手立てを講じる。

### 1 視点・方法を明確にした単元指導計画の作成【手立て 1】

単元指導計画を作成する際に、単元のどの段階でどのような視点や方法が必要になるか、各授業でどのような資料を提示し、どのような発問をするかを明確にする。

### 2 資料提示・発問の工夫【手立て 2】

単元指導計画を基に、各授業において、児童が社会的事象の特色を他の事象と比較したり関連付けたりして考えられるようにするために、視点や方法を意識した資料を提示した

り、発問を工夫したりする。

#### IV 実践内容

本研究では、第4学年（児童数13人）の社会科「県の広がり（わたしたちの群馬県）」において授業実践を行った。

##### 1 手立て1の概要

これまでの単元指導計画では、主な学習活動が書かれているだけで、実際に授業を行う際にどのような資料を提示し、どのような発問を行えばよいかがよく分からなかった。そこで、単元を通して、働かせたい社会的現象の見方・考え方を意識した授業ができるように、各授業で提示する資料や、視点や方法を意識した発問を明記した単元指導計画を作成した（図1）。

作成にあたっては、まず、各授業で働かせる視点や方法（図1の①）を明確にした。次に、地形や土地利用、市町村の位置、主な産業、交通網などの事象の様子を捉えたり、それぞれの事象を比較したり関連付けたりして考えることができるように提示する資料（図1の②）と、どのような発問をすればよいか（図1の③）を明記した。さらに、それぞれの場面で引き出したい児童の考えの一例を明記した（図1の④）。

##### 2 手立て2の概要

手立て1で作成した単元指導計画を基に、各授業において、視点や方法を意識して資料提示をしたり、発問を工夫したりした。本時の県の交通網の様子を捉える際には、交通網の「位置」や「広がり」、「分布」に着目できるように、交通網図を黒板に提示（図2）

して、発問①「交通網はどこにどのように広がっていますか」を行った。また、交通網の特色を他の事象と比較したり関連付けたりして考える際には、前時までに使ってきた地形図や土地利用図、市町村図、工業生産額が多い市町の地図と同縮尺でトレーシングペーパーに印刷した交通網図を児童に配付した。そしてその際、発問②「交通網がこのような広がっているのはなぜでしょうか。地形など関係があるのでしょうか」を行った。

<p>追究する</p>	<p>⑥交通の広がり</p> <p>○県内の交通網の特色をつかむ。（個別）</p> <p>① 位置・空間&lt;交通網&gt; 発問「交通網はどこにどのように広がっているでしょうか」</p> <p>③</p> <p>②</p> <p>④</p> <p>①</p> <p>③</p> <p>②</p> <p>④</p> <p>○県の交通網の特色を市町村の位置や地形との関連から考える。（ペア） 比較、関連付け&lt;交通網と地形、市町村、産業&gt; 発問「交通網がこのような広がっているのはなぜでしょうか。地形など関係があるのでしょうか。」</p> <p>②</p> <p>④</p> <p>○県の交通網の特色をまとめる。（個別、一斉）</p> <p>高崎市・前橋市のあたりを中心に東西、南北に人口の多い市を結ぶようにのびている。また、土地が低い地域に細かく通されている。</p>	<p>（問）県内の交通網の広がり の特色とその理由を探ろう。</p> <p>【思】 県の交通網の特色を、地形や市町村、産業との関連から考え、説明している。</p> <p>②</p> <p>④</p> <p>②</p> <p>④</p> <p>土地が低い地域に道路や鉄道が細かく通っているよ。土地が低い南東は工業も盛んだったね。</p>
-------------	--	---

図1 作成した単元指導計画の一部



図2 黒板に掲示した資料（右が交通網図。その他右から地形図、土地利用図、市町村図、工業の盛んな市町の地図）

### 3 結果と考察

手立て1の単元指導計画の作成により追究する際の視点や方法、用意する資料や発問が明確になった。そのため、各授業において児童のつぶやきをより拾えるようになり、机間指導の際には視点や方法を意識した個別支援をより丁寧に行うことができた。

手立て2の発問①では、児童は群馬県の交通網の特色を、位置や空間的な広がり of 視点を意識して読み取ることができていた(表1)。発問②では、交通網図と他の図を重ね合わせて考える姿が見られた(図3)。児童Aは、地形図と交通網図を重ね合わせ、

「土地が低いところも、道路が細かく通っているところも南東の方だ」と気付いた。そして、交通網の特色を地形の特色や人口(市の分布)の特色と関連付けて、「南東は、土地が低く平地だから人口が多く、交通網が細かく通っている」とまとめた。児童Bは、工業生産額の多い市町をまとめた地図と交通網図を重ね合わせ、「工業が盛んなところに交通網が多い」と気付いた。そして、交通網の特色を工業生産額の多い地域の特色と関連付けて、「工業が盛んな市町の人物が物を売りに行ったりするから交通網が多い」とまとめた。他の児童も、複数の事象を関連付けた言葉でまとめることができていた。

単元の振り返りでは、全体の約70%の児童が「いくつかの資料を関連付けて考える力が付いた」や「資料を組み合わせる気付くことがあった」などと記述していた(表2)。

以上のことから、教師が単元を通して視点や方法を意識した資料提示や発問を工夫したことは、児童の社会的事象の見方・考え方を働かせ、多角的に考えることの一助となったと考えられる。

## V 研究のまとめ

### 1 研究の成果

○単元を見直し、視点や方法を意識した資料提示や発問を工夫することにより、児童は視点を意識しながら資料を読み取ったり、複数の事象を比較したり関連付けたりして考えることができた。

### 2 今後の課題

- 視点や方法を意識した資料提示や発問の工夫を他の単元でも継続して行い、社会的事象の見方・考え方を働かせる指導の充実を図っていきたい。
- 児童の思考を深めるためにも、より効果的な資料作成や資料提示をしたり、ICT機器の活用を進めたりしていきたい。

表1 授業での資料提示や発問と児童の反応

<p><b>黒板に交通網図を提示</b></p> <p>T:群馬県の交通網はどこにどのように広がっていますか。(発問①)</p> <p>S1:新幹線や高速道路が<u>県の真ん中あたりを南北</u>に通っています。</p> <p>S2:<u>南東には国道や鉄道がたくさん</u>通っているよ。</p> <p>S3:それに比べると、<u>北や西の方はあまり無い</u>ね。</p>
<p>T:交通網がこのような広がっているのはなぜでしょうか。これまで学習してきた地形や、産業など関係があるのでしょうか。(発問②)</p>
<p><b>トレーシングペーパーに地形図などと同縮尺で印刷した交通網図を配付</b></p> <p>S4:南東は土地が低くて、人口も多かったね。</p> <p>S5:南東は人口が多くて、交通網を使う人が多いんだ。</p>



図3 資料を重ね合わせている姿


表2 多角的に考える力が付いた児童の記述

<p>この勉強をして、1つ1つを見るのではなく、他のことと関連付けて考える力が身についた。</p>
<p>北・西南・東になにがあるか調べるとき自分のもっているしるしをくみあわせてどうなるかやってみてきづくことがあった。</p>



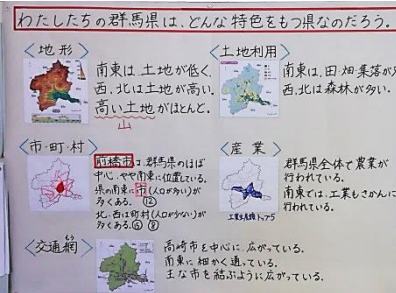
## VI 授業案

第4学年 単元名 「県の広がり（わたしたちの群馬県）」 （本時は9／10）

本時のねらい 交通網の特色を地形や市町村の位置、産業などと比較したり関連付けたりしながら考えることを通して、交通網の特色を理解することができる。

学習活動	指導の工夫	子供の姿・反応例
1 前時の学習を振り返る。 （一斉）	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁面に掲示した学習計画表を見返し、これまでに学習してきたことを確認する。</li> <li>前時までの学習で使用した地図資料を黒板に並べて提示する。</li> <li>方位を使って説明するように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬県の主な産業の様子が分かったよ。</li> <li>南東は人口が多く、工業が盛んだったね。</li> <li>土地が高い地域では農業が盛んだったね。</li> </ul>
2 本時の学習課題をつかみ、群馬県の交通網の特色を見付ける。 （一斉）		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           学習課題 「群馬県の交通網の広がり方とその理由を探ろう。」         </div>		
	<b>発問①&lt;位置・空間&gt;</b> <b>「群馬県の交通網はどこにどのように広がっているだろう。」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通網図を黒板に提示し、「群馬県の交通網はどこにどのように広がっているだろうか」と問いかけ、交通網の位置や広がり方に視点が向かうようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道や鉄道が南東にたくさん通っているね。</li> <li>新幹線や高速道路が、県の真ん中あたりを南北に通っています。</li> <li>鉄道や高速道路が集まっている場所があるよ。</li> <li>北や西の方は交通網が少ないよ。</li> </ul>
3 交通網の特色とその理由について話し合う。 （ペア）  	<b>発問②&lt;比較・関連付け&gt;</b> <b>「交通網がこのように広がっているのはなぜでしょうか。地形や市町村、産業などと関係があるのでしょうか。」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人に一枚、副読本88ページの交通網図をトレーシングペーパーに印刷し、配付する。</li> <li>交通網の特色と地形、市町村の位置、産業の特色を比較したり関連付けたりして考えられるよう、前時までに使ってきた資料と同じ縮尺で印刷する。</li> <li>交通網図と地形図や市町村地図、産業についてまとめ</li> </ul>	<交通網と地形を関連付け> <ul style="list-style-type: none"> <li>土地が低い南東に交通網が細かく通っていて、土地が高い地域には交通網があまり無い。</li> </ul> <交通網と市町村を関連付け> <ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路は市をつなぐように伸びている。</li> <li>高速道路や新幹線は高崎市のあたりを中心に、東西、南北にのびている。</li> <li>人口が多い（市が多い）地域に交通網がたくさんある。</li> </ul> <交通網と産業を関連付け>



	<p>た地図を比較して見ることで、交通網の広がりや地形や市町村の位置、産業などの関係を捉えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 話し合いが進まないペアに対しては、交通網図と地形図を並べて見せたり、重ねて見せたりして、気付くことはないか問いかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 南東は工業が盛んで、作った物を運ぶから交通網が多い。</li> </ul>
<p>4 本時の学習課題に対するまとめをする。 (個別→一斉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通網図と地形図や市町村地図などを比較したり、関連付けたりしながら考えた交通網の特色の理由をノートに文章でまとめるよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通網は土地が低くて人口が多い南東に細かく整備されている。</li> <li>• 高速道路は主な市を結ぶように通っている。</li> </ul>
	<p>評価項目 県の交通網の特色を地形や市町村の位置、産業などと関連付けて捉え、説明している。【思】 (発言、ノートへの記述)</p>	<p>南東は、土地が低く、平地だから、人口が多く、交通もうが細かく通っている。</p> <p>南東は人口が多いから、人が交通もうを使うことが多い。</p>
<p>5 本時の学習の振り返りをして、次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単元の学習問題に照らして本時の学習で明らかになったことは何か、まだ明らかになっていないことは何か更に調べてみたいことは何かという視点で学習の振り返りをし、ノートに書くよう促す。</li> <li>• 児童の振り返りをまとめて教室壁面に掲示した学習計画表に書き込む。</li> </ul>	

参考文献

澤井陽介：「小学校 新学習指導要領 社会の授業づくり」，明治図書，2018

北 俊夫：「主体的・対話的で深い学び」を実現する社会科授業づくり」，明治図書，2018